

配信資料に関する技術情報（地震火山編）第255号

I. 顕著な地震の震源要素更新のお知らせについて

I. 顕著な地震の震源要素更新のお知らせについて

1. 概要

気象庁では、顕著な地震が発生した際の報道発表において、地震情報等の発表のために迅速に決定した震源要素（速報値）から、その後精査した震源要素（暫定値）へ更新した旨を公表する場合があります。

この震源要素の更新による混乱を極力回避するため、報道発表において震源要素の暫定値への更新を公表した場合には、地震情報（その他の情報）においてその更新内容を情報の利用者にお知らせします。なお、それ以降、当該地震に関連する津波情報等を発表する場合は、その情報中の震源要素も暫定値に更新することとしています。

2. 実施予定日

平成19年3月1日（木） 12時（中央標準時）

3. 内容

（1）地震情報（その他の情報）

①地震情報（その他の情報）（電文ヘッダ：ゼンコクイシ 1、電文種別コード：87）として発表します。

②この「ゼンコクイシ 1」電文は、コード部と漢字かな部から構成され、漢字かな部の中に震源要素等を表記します（別紙参照）。

③コード部は、共通項目と短い電文別項目（暫定震源要素を表記するための自由付加文があることを示す付加文コードを含む）から構成されます。コード部の説明は以下のとおりです。

「aa bb nn y₁y₁m₁m₁d₁d₁h₁h₁m₁m₁s₁s₁ Cnf y₂y₂m₂m₂d₂d₂h₂h₂m₂m₂s₂s₂
kkk Afn₁n₂n₃n₄n₅ 9999」

aa bb nn y₁y₁m₁m₁d₁d₁h₁h₁m₁m₁s₁s₁ Cnf : コードの共通項目

kkk : 震央地名コード、本情報の場合においては「///」とする。

Afn₁n₂n₃n₄n₅ : 付加文コード、自由付加文があることを示すため（f = 1）となる。

y₂y₂m₂m₂d₂d₂h₂h₂m₂m₂s₂s₂ : 本情報を発表することとなった地震の最初の地震情報（震源・震度に関する情報）の発表時刻

9999 : コード行の終わりを示す。

(2) 震源要素（暫定値）の更新後、その震源要素（暫定値）が使用される電文一覧対象となる電文は、以下のとおりです。

- ・ 津波予報
- ・ 津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報
- ・ 各地の満潮時刻・津波到達予想時刻に関する情報
- ・ 津波観測に関する情報
- ・ 津波観測に関する一覧データ

4. 配信資料に関する技術情報（地震火山編）第 249 号について

地震情報（その他の情報）で震源要素の更新を周知した場合、その後発表される津波情報等で使用される震源要素は、この更新されたものを使用することとなりました。

この方針変更に伴い、平成 19 年 1 月 30 日付配信資料に関する技術情報（地震火山編）第 249 号「I. 震源要素を付加した津波警報・注意報電文の提供について」の「3. 内容」において、「⑤震源要素等の内容は、津波予報切り替えや解除の電文にも挿入する。この場合原則として、一番初めに津波予報を行った震源要素を継続することとする。」とお知らせしているところですが、地震情報（その他の情報）で震源要素更新のお知らせを発表した場合には、その更新した震源要素を使用することとします。

電文例

ゼンコクサイズモ1 キヨク

87 03 00 070201170500 C11 070201115200 /// A100000 9999

地震情報（顕著な地震の震源要素更新のお知らせ）

平成19年 2月 1日17時05分 気象庁地震火山部発表

平成19年 2月 1日17時05分をもって、地震の発生場所と規模を以下のとおりとします。

平成19年 2月 1日10時47分の地震

北緯 26度 2.4分 （北緯 26.0度）

東経 141度17.1分 （東経141.3度）

深さ 0 km （深さ ごく浅い）

規模（マグニチュード） 3.3

※ 括弧内の値は、津波情報等を引き続き発表する場合に使用されます。

=